

# 防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成30年度病害虫発生予察防除情報第11号

## 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ） の発生状況及び果樹園への飛来時期について

8月以降は果樹カメムシ類が越冬成虫から新世代成虫に入れ替わる時期となります。現在、新世代は主にヒノキのきゅう果上に生息し、きゅう果が餌として好適な期間はヒノキ上に留まりますが、吸汁によってきゅう果の劣化が進み、餌として不適となるとヒノキから離脱して果樹園へ飛来します。

今年は過去の同時期と比べ、ヒノキ樹上の寄生虫数が多く、ヒノキきゅう果の吸汁による劣化が進んでいるため、果樹カメムシ類のヒノキきゅう果からの離脱が早まることが予想されますので、果樹園への飛来に注意して防除してください。

### 記

#### 1. 発生状況について

- (1) 4～7月のフェロモントラップの誘殺数は平年より多く、越冬世代成虫は多い（図）。
- (2) 7月下旬に実施したヒノキきゅう果のビーティング調査の結果、1枝当たりの寄生虫数は4.9頭（平年2.0頭）と平年より多かった（表1、2）。
- (3) 7月下旬に実施したヒノキのきゅう果着生状況調査の結果、県内15地点の平均着生量は2.9（平年2.8）と平年並であった（表2）。

表1 ヒノキ樹(きゅう果着生枝)における果樹カメムシ類の寄生状況（平成30年7月25、26日調査）

	チャバネアオカメムシ(頭/枝)					ツヤアオカメムシ(頭/枝)					合計
	成虫	老齢	中齢	若齢	計	成虫	老齢	中齢	若齢	計	
平成30年	1.2	0.4	1.3	1.0	3.9	0.2	0.4	0.4	0.1	1.0	4.9
平年	0.5	0.3	0.5	0.6	1.8	0.1	0.2	0.0	0.0	0.4	2.0

\*値は長崎県病害虫防除所の調査(ビーティング法)による

表2 果樹カメムシ類の寄生状況およびヒノキのきゅう果着生量の年次別推移

年度	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	平年	30年
寄生虫数(頭/枝)	0.3	1.8	2.6	2.6	1.2	2.8	3.3	2.5	0.6	0.3	2.6	2.0	4.9
きゅう果着生量	1.6	4.4	2.4	2.6	3.1	3.0	2.2	3.5	1.0	2.3	3.5	2.8	2.9

\* きゅう果着生量は、程度を5段階(多:5, やや多:4, 中:3, やや少:2, 少:1)として達観調査した

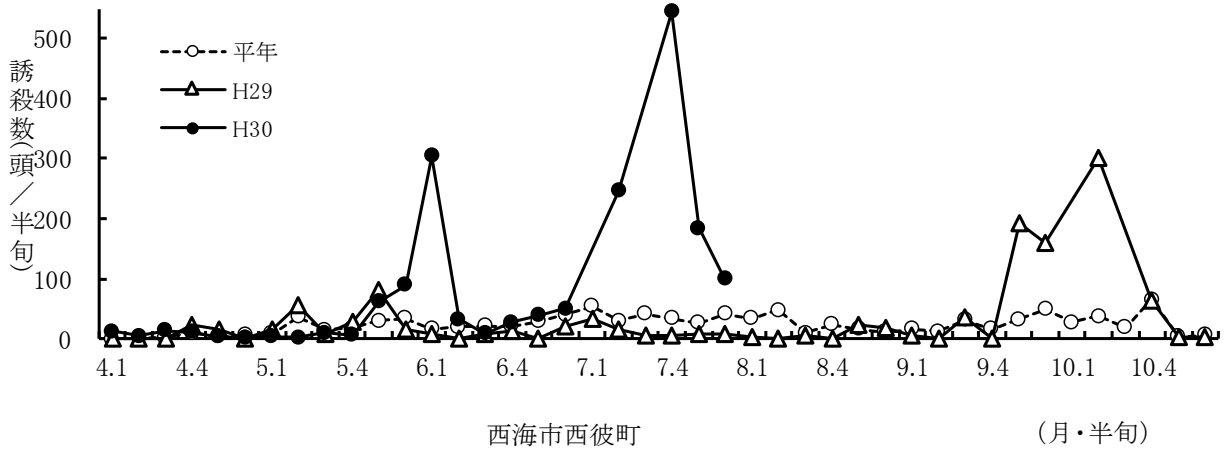
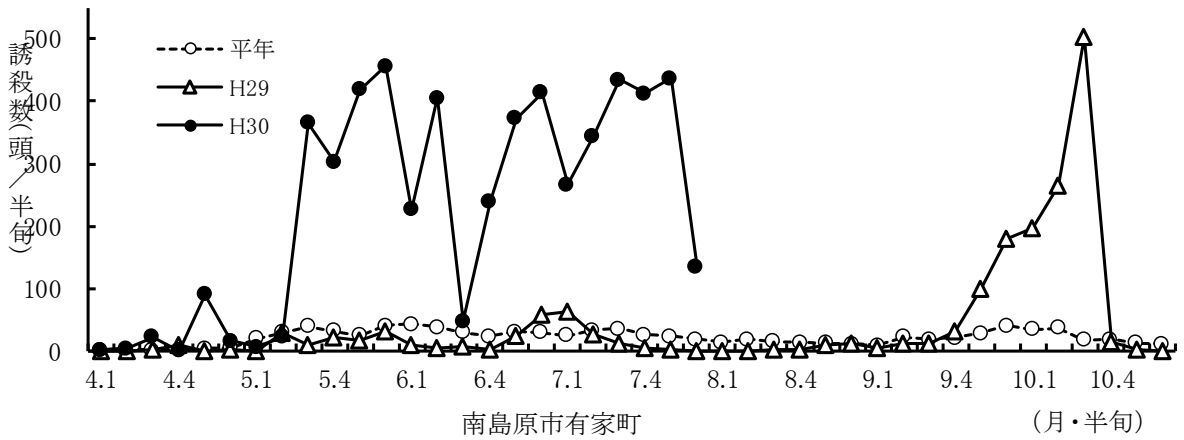
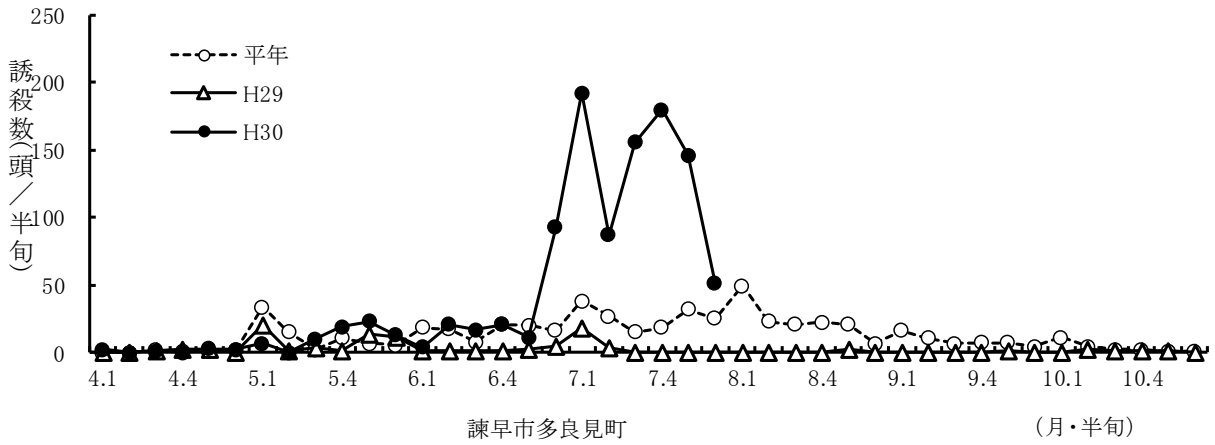
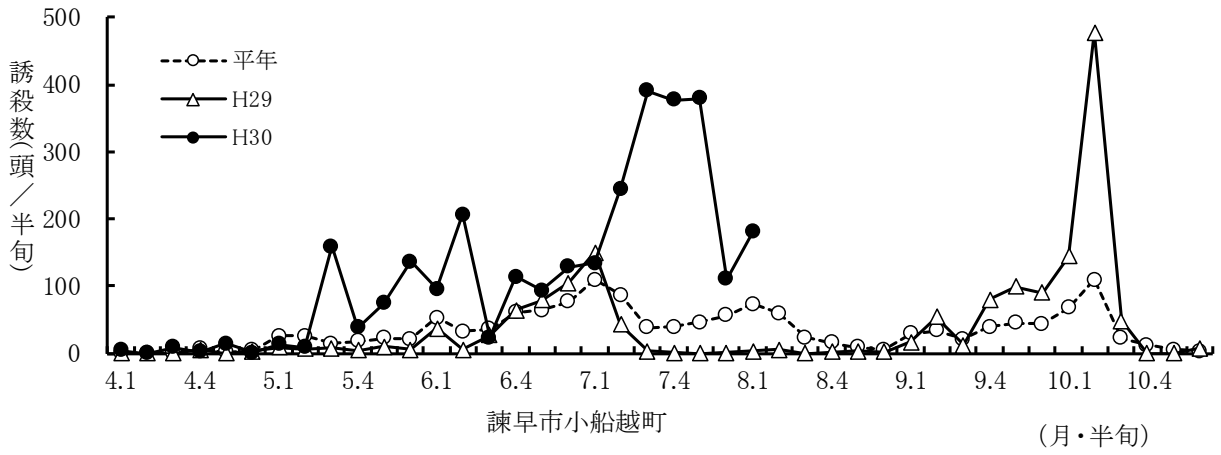


図 チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシの誘殺状況(黄色コガネコール)

## 2. 果樹園への飛来時期について

- (1) 7月下旬に採集したヒノキきゅう果上の口針鞘数調査の結果、調査地点の平均の口針鞘数は9.1本（平年2.2本）と過去10年間で最も多く、果樹園への飛来時期は表3のとおりと予測される。

表3 ヒノキきゅう果における口針鞘数及び離脱予測日

調査地点	7月25日、26日採集	
	口針鞘数 (1果当たり)	離脱予測日
諫早市多良見町東園	12.6	8月2日
〃 佐瀬	9.6	8月13日
長与町岡	8.7	8月16日
時津町西時津	4.5	9月1日
西海市西彼町小迎	5.2	8月29日
西海市西海町木場	15.6	7月25日
諫早市長田	8.9	8月17日
大村市今村	7.3	8月23日
東彼杵町赤木	4.3	9月1日
雲仙市瑞穂町伊福	7.8	8月21日
雲仙市国見町百花台	5.0	8月31日
南島原市有家町新切	10.8	8月10日
南島原市北有馬町田平名	21.8	7月26日
佐世保市宮	15.9	7月25日
佐世保市針尾	6.9	8月23日
平均	9.1	8月15日

表4 口針鞘数及び離脱予測日の年次別推移

年度	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	平年	30年
調査日(月/日)	7/28	7/26	7/28	7/22	7/26	7/22	7/22	7/22	7/21	7/24	7/25
口針鞘数(本/果)	1.9	2.5	2.4	0.7	2.8	2.5	1.2	6.2	0.8	2.2	9.1
離脱予測日(月/日)	9/13	9/9	9/11	9/12	9/8	9/5	9/9	8/22	9/10	9/8	8/15

注1) 平成30年7月25日、26日に採集した、きゅう果30果についての口針鞘数を数えた

注2) きゅう果は1果当たりの口針鞘数が25本以上になると餌として適さなくなり、餌不足になったカメムシはヒノキから離脱して果樹園に飛来する

注3) 予測日は予測式(福岡県農業総合試験場作成)を利用して算出した

## 3. 防除上注意すべき事項

- (1) 山林に近い園地や毎年発生を認める園地などでは、上記の予測日を目安に見回りを徹底し、カメムシ類の飛来が認められた場合には早急に防除を行う。なお地域によっては、すでに予測日を過ぎているところもあるので、見回りを徹底する。
- (2) 飛来時期や飛来量は園地によって異なる場合があるので注意する。

---

○6月1日から8月31日までの3か月間を「農薬危害防止期間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

